

6 中国・四国

「瀬戸内しまのわ2014」の開催
地方銀行との連携による観光振興が進展
観光列車「伊予灘ものがたり」運行開始

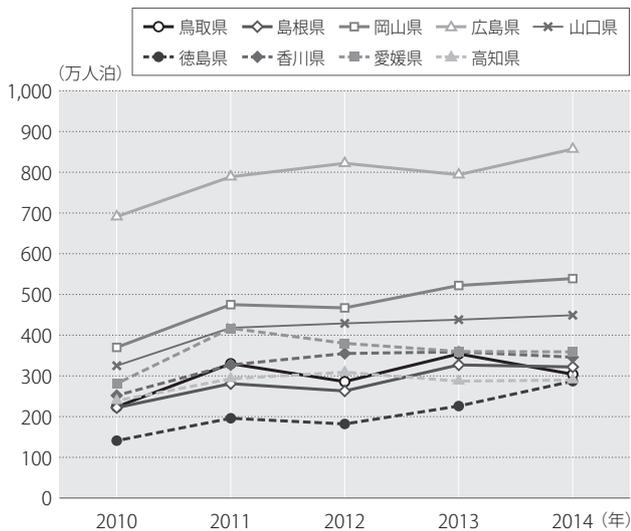
(1) 都道府県レベルの旅行者動向

観光庁「宿泊旅行統計調査」によると14年1月～12月の中四国各県の延べ宿泊者数については、中四国全体では3,754万人泊となり、前年比2.4%増となった(図IV-6-1)。

延べ宿泊者数が増加したのは、徳島県(前年比27.1%増)、広島県(同7.9%増)、岡山県(同3.3%増)、山口県(同2.5%増)、高知県(同1.1%増)となった。

一方で、延べ宿泊者数が減少したのは、鳥取県(前年比14.0%減)、香川県(同3.4%減)、島根県(同1.7%減)、愛媛県(同0.2%減)となった。

図IV-6-1 延べ宿泊者数の推移(中国・四国)



県	2010	2011	2012	2013	2014
鳥取県	224	330	286	354	304
島根県	222	281	263	327	322
岡山県	370	475	467	522	539
広島県	691	789	822	794	857
山口県	325	418	429	438	449
徳島県	141	196	182	226	287
香川県	252	327	355	359	346
愛媛県	281	417	380	360	359
高知県	239	293	309	287	290

※～2010.3 従業員10人以上の宿泊施設を調査対象とする 単位: 万人泊
2010.4～ 全ての宿泊施設を調査対象とする
資料: 観光庁「平成26年宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

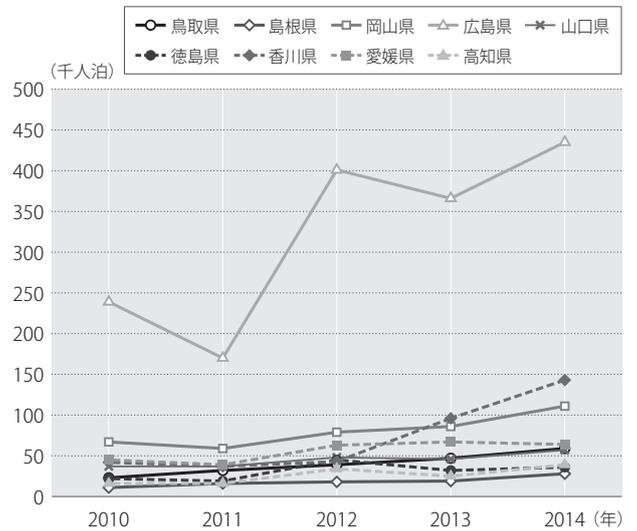
外国人延べ宿泊者数については、中四国全体では97万人泊となり、前年比23.9%増となった(図IV-6-2)。14年の訪日外国人観光客数は過去最高となり、全国的に外国人延べ宿泊者数が増加しているなか、中四国における増加率は、東北に次いで低い結果となった。

延べ宿泊者数が増加したのは、高知県(前年比55.5%増)、香川県(同48.9%増)、島根県(同47.5%増)、岡山県(同29.1%増)、鳥取県(同25.6%増)、山口県(同22.6%増)、広島県(同

18.9%増)、徳島県(同11.2%増)となった。増加率が高かった島根県では、大型クルーズ船の境港(鳥取県境港市)への寄港が近年増加傾向にある。

一方で、延べ宿泊者数が減少したのは、愛媛県(前年比4.3%減)となった。

図IV-6-2 外国人延べ宿泊者数の推移(中国・四国)



県	2010	2011	2012	2013	2014
鳥取県	23	32	39	47	59
島根県	11	16	18	19	28
岡山県	67	59	79	86	111
広島県	239	170	401	366	435
山口県	37	37	48	46	57
徳島県	22	19	45	32	36
香川県	42	37	43	96	143
愛媛県	45	39	63	67	64
高知県	16	16	34	25	39

※～2010.3 従業員10人以上の宿泊施設を調査対象とする 単位: 千人泊
2010.4～ 全ての宿泊施設を調査対象とする
資料: 観光庁「平成26年宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

(2) 観光地の主な動向

(地方・都道府県)

●「瀬戸内しまのわ2014」の開催

14年は、瀬戸内海国立公園指定80周年と瀬戸内しまなみ海道開通15周年という節目の年であった。愛媛県と広島県は共同で、14年3月～10月に博覧会形式のイベント「瀬戸内しまのわ2014」を開催した。愛媛県と広島県の島しょ部および臨海部が開催場所となっており、具体的な市町村名として、愛媛県側は松山市、今治市、上島町、広島県側は広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、東広島市、廿日市市、江田島市、大崎上島町が該当した。開催目標は「地域の宝の磨き上げ」と「交流人口の拡大」であり、期間中に実施したイベント数は、合計で418に上った(表IV-6-1)。

「瀬戸内しまのわ2014」全体の来場者数は合計で約588万人となり、既存イベントの来場者数を基準とした対前年来場者増加数は約211万人となった。また、経済波及効果も全体で約197億円を記録した。14年11月には、「2014年度グッドデザイン・地域づくりデザイン賞」(公益財団法人日本デザイン振興会)を「瀬戸内しまのわ2014」が受賞した。15年1月、広島県は「瀬戸

表IV-6-1 「瀬戸内しまのわ」メインイベント抜粋

イベント名	開催地域	開催期間
しまあかり 宮島 ～幻想 巖島物語～	廿日市市 宮島	14年3月21日～5月11日
第2回広島みなとフェスタ ～みなとでつながる海と島と人～	広島市 広島港周辺	14年3月22～23日
しまのわ“まるごと”しまフェスタin三津浜・道後	松山市 三津浜、道後	14年4月19～20日 14年4月29日～5月5日
散歩散走 in 尾道 ～サイクリング&ウォーキングパラダイス おもいおもいの島めぐり～	尾道市、今治市	14年4月19日～8月31日
竜宮マーケットin内海町 ～うつみ大漁まつり&竜宮イカまつり～	福山市 田島、横島	14年4月29日 14年5月3～4日
バラ祭りよしうみ ～恋愛指数UP!島de婚トレ～	今治市 大島	14年5月24～25日
サマーフェスタin広島	広島市 広島港周辺	14年7月19～21日
はかた夏まつり ～夏・海・歌トーク&ライブ～	今治市 伯方島	14年8月13日
瀬戸内水軍まつりin尾道 ～因島水軍スピリッツの継承～	尾道市 因島	14年8月30日
現代アートとお茶の祭典in尾道 ～芸術文化の共創～	尾道市	14年9月13日～10月26日
しまのわ ご当地フェスティバルin今治	今治市	14年9月27～28日
海軍グルメフェスタin呉	呉市 大和波止場	14年10月12日
第11回 三原浮城まつり	三原市 三原駅前周辺、三原港周辺	14年10月25～26日
瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」	今治市、上島町、尾道市	14年10月26日

※来場者数が30,000人以上となったイベントを掲載

資料：「瀬戸内しまのわ2014」記録集より（公財）日本交通公社作成

内しまのわ2014」を通じて蓄積された地域づくりのノウハウを広く共有し、今後の活動の参考としていくために「瀬戸内しまのわ2014『活動手引書』」を発行し、県のホームページで全文を公開した。

●広域観光に向けた取り組み

15年3月、中国横断自動車道・尾道松江線（中国やまなみ街道）の全線開通を契機に、沿線に所在する計9つの観光推進組織（尾道観光協会、因島観光協会、福山観光コンベンション協会、三原観光協会、竹原市観光協会、府中市観光協会、世羅町観光協会、上島町観光協会、今治地方観光協会）によって構成される新組織「しまなみ・中国やまなみ沿線観光協会連絡協議会」が発足した。同協議会では、沿線地域の魅力を紹介し、スタンプラリーも盛り込まれたガイドブック「BINGO! しまなみスタンプまっぷ」の発行など、各種取り組みを通じて、観光客の周遊を促すことを目指している。

14年5月、中国地方知事会の海外観光客誘致部会は、「中国地方の多様な地域資源、特色を活かした新たな広域観光の創出」を連携テーマとして掲げた。取り組み方針として、共通のテーマ（アート・芸能、食、文化遺産など）による観光素材の選定と広域ルートづくりを提示した。

●地方銀行との連携による観光振興

中四国の地方銀行では、地域内の各種団体と連携した観光振興への取り組みが進んでいる。14年5月、中国銀行（広島県）は、JTB中国四国と観光を機軸とした地域経済の活性化に寄与することを目的として、「地域振興に関する連携協定書」を締結した。連携内容としては、「地域への観光客誘致に向けた活動の促進」「地域資源を活用した特産品などの販売活動の促進」などが含まれている。

14年10月、百十四銀行（香川県）は、香川県と締結した「産業振興による地域活性化に向けた連携・協力協定」に基づき、県と共同で着地型観光プランの企画に役立つ情報提供を行うモニターチームの活動を開始した。チーム名は「瀬戸内モニターガールズ」と名付けられており、メンバーは、同行の女性社員から構成される。10月には、高松市の仏生山地区をフィールドとして「お成り街道仏生山モニタリング研修会」を開催し、地域内の酢醸造所の見学や、たんきり飴作りの体験を通じ、新たな観光魅力の創出を図った。

14年11月、伊予銀行（愛媛県）は、愛媛県および今治市の協力の下、しまなみ海道をサイクリングする映像やポスターを制作し、全営業店のロビービデオで愛媛県のサイクリングの魅力を発信した。

また、14年7月には四国の地方銀行4行（伊予銀行、阿波銀行、百十四銀行、四国銀行）が連携し、JTB協定旅館ホテル連盟四国4支部加盟企業などの協力により、台湾でインバウンド商談会を開催した。

●「ご縁の国しまね」の取り組み

島根県は、主に首都圏在住者を対象に島根県の認知度向上と来訪促進を図るためのキャンペーンとして、13年より「ご縁の国しまね」と名付けた取り組みを行っている。キャンペーン開始2年目となる14年度は、「就活、婚活の前に、縁活。ご縁休暇をとりませんか。」をキャッチコピーに設定し、就職・結婚など人生の転機となる時期を迎えるターゲット層に対して、島根県への旅行に対する動機づけを高めることをテーマとした。PR大使として、13年に引き続き同県にゆかりのある著名人のDAIGO氏を起用し、首都圏でのイベント開催や、ポスター・プロモーションビデオの制作、交通広告の展開、特設サイトの公開など

を実施した。

首都圏在住者を対象とした「しまねの観光認知度調査」(鳥根県実施)によると、「ご縁の国しまね」のキャンペーン認知率は上昇傾向にある。

●「うどん県」の取り組み

香川県は、11年より「うどん県。それだけじゃない香川県」プロジェクトを実施しており、地域全体のブランド力向上を目指している。14年は、「恋するうどん県」をキャッチコピーに、「瀬戸内海編」「お遍路編」「観光名所編」「アート編」の4テーマとこれらをつなぐ「総合イメージ編」の計5つについて、うどん県副知事の要潤氏や木内晶子氏といった著名人が出演する映像コンテンツによるPRを行った。

また、14年7月には瀬戸内海国立公園指定80周年記念事業として、サンポート高松(高松市)において「香川ウォーターフロントフェスティバル」を開催し、同フェスティバルでは、海水を特殊なポンプで噴き上げて巨大な水のスクリーンを張り、インパクトのある映像を投影するプログラムを実施した。

●「泣ける!広島県」の取り組み

広島県は、12年より「おいしい!広島県」をキャッチコピーとしたキャンペーンを実施していたが、14年7月より、「泣ける!広島県」に変更することを発表した。「泣けるほど素晴らしい」広島県の魅力を伝え、来訪を促進することを目指しており、具体的な取り組みとしては、県出身の著名人であるPerfumeを表紙に活用した「究極のガイドブック」を作成し、全国美容室、カフェ、コンビニ、広島県関連施設などで無料配布したことなどが挙げられる。

●鳥取県による「蟹取県」キャンペーン

14年10月～15年2月、鳥取県は、公益社団法人鳥取県観光連盟の協力のもと、「鳥取県ウェルカニキャンペーン」を実施した。これは、鳥取県観光連盟に加盟する対象宿泊施設の宿泊者を対象に、抽選で鳥取県産のカニをプレゼントするというものであり、鳥取県が全国1位の水揚げ量を誇る食材であるカニの魅力を活用した誘客促進を図った。

14年11月には東京で本キャンペーンのPRイベントを実施した際には、平井伸治県知事が鳥取県を「蟹取県」に改名すると宣言した。併せて、県の公式ホームページ内に特設ページを作成し、インターネット上でも「蟹取県」の周知促進に向けた取り組みを実施した。

●「やまぐち幕末ISHIN祭」の展開

14年度より、山口県は、幕末維新をテーマに観光振興を推進する「やまぐち幕末ISHIN祭」を展開した。14年4月、市町村、経済団体、交通機関ならびに山口県観光連盟などの観光関連団体で構成する「やまぐち幕末ISHIN祭プロジェクト推進委員会」を設立した。14年6月には、吉田松陰の妹・文をイメージしたオリジナルキャラクターと公式ロゴを発表した。14年11月には、東京でキャンペーン発表会を開催した。

「やまぐち幕末ISHIN祭」は、山口県が舞台となっている15年のNHK大河ドラマ『花燃ゆ』の放映を契機に、18年の明治維新150年に向けて、食、温泉、歴史文化など県の魅力を体感

してもらうための各種取り組みを官民で実施するものである。18年までの計5年間にわたる長期的なキャンペーンとなっており、「幕末維新」をテーマとした全県規模での観光資源の掘り起こしや充実と、計画的・持続的なキャンペーンの展開などを基本方針としている。具体的な取り組みとしては、15年1月より県内周遊を促すスマートフォンアプリ「やまぐち観光ナビ『志士への道』」や、パスポートブック「おいでませパスポート」を配布したことが挙げられる。

●「おかやま生き活き観光アクションプラン」の策定

14年4月、岡山県は、14～16年の観光振興に関する施策の実施計画として「おかやま生き活き観光アクションプラン」を策定した。本プランは、13年12月に策定された岡山県の総合的な計画である「晴れの国おかやま生き活きプラン」において掲げられている「観光振興プログラム」の生き活き指標(表IV-6-2)達成を図るための計画という位置づけとなっている。全体的な構成としては、国内誘客促進と外国人誘客促進の2部門に分かれ、国内誘客促進にあたっては「調査・計画」「着地型観光」「認知度向上・情報発信」「広域観光連携」「おもてなし・受入環境整備」が、外国人誘客促進にあたっては「海外での認知度向上」「広域連携」「新たな市場開拓」「受入体制の充実」「交通アクセスの充実」が施策テーマとして掲げられた。

表IV-6-2 「観光振興プログラム」の生き活き指標

指標	現況値	目標値
観光消費額	1,382億円/年	1,600億円/年
観光客入り込み数	1,322万人/年	1,500万人/年
延べ宿泊者数	475万人/年	500万人/年
外国人旅行者宿泊者数	70,802人/年	115,000人/年
岡山空港の国際定期便数	18便/週	25便/週
岡山後楽園の入園者数	661,175人/年	750,000人/年

※各指標の算出基準は、観光庁または県独自調査に基づく
資料:「晴れの国おかやま生き活きプラン」をもとに(公財)日本交通公社作成

●「龍馬パスポート」のリニューアル

高知県では、12年4月より、県内の主な観光施設で提示すると特典を受けることができる「龍馬パスポート」の発行を実施してきた。14年4月より、内容のリニューアルを行い、「龍馬パスポートII」を新たに発行した。対象施設でスタンプを集めていくことで、パスポートのステージが上がり、特典内容も充実する仕組みについて、3段階から5段階に細分化することで、難度と楽しさのアップを図った。また、期間限定でデザイン性の高い「レアスタンプ」が新たに登場し、一度行ったことがある施設への再訪問も促す仕組みとなっている。

●「おへんろさんの駅」の設置

14年4月～12月、香川県は、四国八十八カ所霊場開創1200年を迎え、増加が見込まれるお遍路さんや県外観光客をもてなすための施設として「おへんろさんの駅」を設置した。霊場周辺や遍路道沿いを中心に所在する計39施設を「おへんろさ

んの駅」として指定し、観光パンフレットの配布や、道案内、トイレの貸し出し、湯茶の提供などのサービスを提供した。指定施設の種別は、道の駅、店舗、観光施設、温泉などと多岐にわたった(表Ⅳ-6-3)。

表Ⅳ-6-3 「おへんろさんの駅」施設数内訳

種別	施設数
道の駅	12
店舗	7
観光施設	6
温泉	4
案内所	3
資料館	2
フェリー乗り場	1
ホテル	1
駅	1
空港	1
自動車学校	1

資料：香川県ホームページをもとに(公財)日本交通公社作成

●徳島県がオープンデータポータルサイトを公開

14年12月、徳島県は、県が保有する行政データを一元的に公開する「徳島県オープンデータポータルサイト(Our Open Data)」を仮公開した(15年4月より本格運用を開始)。観光・物産に関するデータは、「県内観光施設一覧」「県内ホテル一覧」などの7件がカンマ区切り形式のテキストファイル(CSV)で公開されており、利用者が一定の利用ルールのもとで加工できるようになっている。こうしたデータの活用を通じ、新たなサービスの創出や地域における課題解決などを図ることが見込まれる。

(広域・市町村)

●三朝温泉開湯850年に関する取り組み

14年、三朝温泉(鳥取県三朝町)は開湯から850年を迎えた。14年4月、三朝温泉旅館協同組合は、宿泊者限定で850円の温泉手形を販売開始した。販売枚数は計850枚となってお

り、手形の内容は、温泉入浴券や2万円分の旅館宿泊利用券が当たるスピードくじなどが含まれていた。14年7月には、三朝町商工会が、町内の旅館や商店で使用できる商品券(11,850円分)を10,000円で購入できるプレミアム付き記念商品券を販売した。また、14年9月には、チケットに温泉入浴券が付いた音楽イベント「野外音楽フェスティバル 恋谷音楽」を三朝青年団主催で開催した。

●観光列車「伊予灘ものがたり」運行開始

14年7月、四国旅客鉄道株式会社(以下、JR四国)は、松山～伊予大洲・八幡浜間を走る観光列車「伊予灘ものがたり」の運行を開始した。土日・祝日を中心に1日2往復が運転されるダイヤとなっており、全車指定席の車内では、地元の食材などを活用した事前予約制の食事サービスが提供される。

15年3月には、予定より早く乗客数が1万人に達したことを記念して、松山駅(愛媛県松山市)で記念イベントが開催された。

●「道後オンセナート2014」の開催

14年4月～12月、官民で構成する道後温泉本館改築120周年記念事業実行委員会は、道後温泉本館(愛媛県松山市)の改築120周年を記念した芸術祭「道後オンセナート2014」を開催した。アートディレクションと運営は、地元NPOと若手クリエイターでつくるコンソーシアム「道後アートプロジェクト」が担当し、総合プロデュースは、株式会社スパイラル/株式会社ワコールアートセンターが行った。会期中は、エリア内の各所への作品展示や、道後エリアに所在する9軒のホテル・旅館の客室を、アーティストがデザインする「HOTEL HORIZONTAL」などのプログラムが展開された。14年10月には、グッドデザイン賞を受賞した。

●宮島口まちづくり国際コンペの実施

15年2月、廿日市市と広島県は、宮島口地区のまちづくりのアイデアを募集する国際コンペの応募登録を開始した。提案内容は、「まちづくりのコンセプトおよび全体デザイン」「アーバンデザインおよび導入を図るべき施設・機能の具体的なアイデア」「事業推進の工夫」の3点であり、岸井隆幸氏(日本大学理工学部教授)を審査委員長とした委員会によって提案内容が審査される。最終審査は、15年10月に実施予定となっている。

(外山昌樹)